

自主的・協働的に学ぶ

第5回授業研究会

10月3日（火）今年度5回目の授業研究会を行いました。

お招きした講師の先生は、

元文部科学省 教科調査官 元京都女子大学 教授 井上 一郎 先生

北部学校教育事務所ハマアップ 授業改善支援員 永池 啓子 先生 です。

今年度も、「自ら問い、自己選択・自己決定しながら学び続ける子どもの育成 ～一人ひとりが『自覚的な学び』を繰り返す学びのデザイン～」をテーマに授業研究会を行い、授業力を向上させていきます。

2年1組

単元名 「身近な材料を工夫して作品をつくり、友達と遊ぼう」

教材名 「音づくりフレンズ」

飾り付けの参考にするために、作った音が鳴るものを友達に見せたり、出る音を聞いてもらったりして、それぞれが思い付いたイメージを話し合いました。順番に紹介し合って、出たイメージをまなボードにまとめていきました。友達と一緒に考えることで、自分が考えていたものに自信を深めたり、もっとイメージが広がったりして、飾り付けのヒントを増やすことができました。

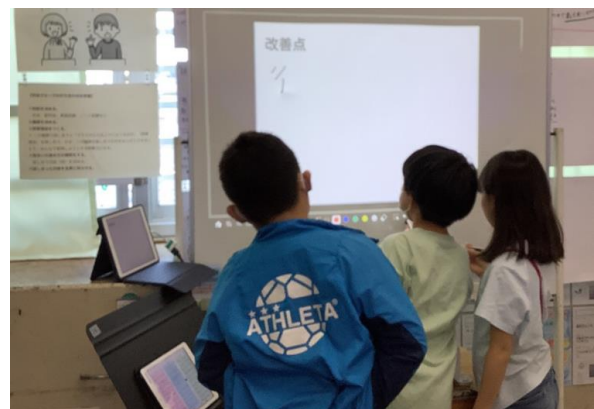


4年4組

単元名 役割を意識しながら「Galaxy」会議を行おう！

教材名 「クラスみんなで決めるには」

日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶ力を高めました。また、目的や進め方を確認して司会などの役割を果たしながら会議を行いました。自分の考えをまとめるためにタブレット端末を使用したり、録画した話合いの様子やモデルとなる話合い活動をプロジェクターに映し出したりして、子どもたちは課題を解決するための思考を深めました。



3年2組

単元名 チームでボールをつないで大量得点をしよう！3-2 流星群大会～ハンドボール編～

教材名 「ゴール型ゲーム」

大量得点をするためには、チームでどのようにゴールまでボールをつなぐのがいいのか、作戦を考えながらハンドボールゲームに取り組みました。走りながらのパス&キャッチや、パスを出したらゴールに向かって走るなど、基本的な技能を身に付けました。また、チームの課題や良さを話し合い、練習方法や作戦を考えながらハンドボールゲームに取り組みました。



5年3組

単元名 「登場人物になりきって物語を読もう」

教材名 「たずねびと」

「物語の全体像をとらえるにはどうすればよいか。」また、「自分たちと同じ11歳の主人公、綾の気持ちを読み取りたい。」という課題意識から、背景を確認しながら綾の気持ちを考えることに重点を置いて学習を進めてきました。授業では、その総仕上げとして、綾になりきって質問に答える授業をしました。子どもたちは、「綾の心情の変化とその背景が理解できると、物語が更に面白く読めました。」「戦争に対する関心が生まれました。」といった感想をもちました。

